

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1 文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」の観点で考えさせる
- つなぎ発問②**…主題発問で考えたことと、子どもの生活とをつなぐような話を入れる。そして、自分との関わりで、振り返りを行うことができるように、道徳的価値を入れた振り返りの観点を説明する
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりして振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

※振り返りの 4 観点は、次のようになっていますが、ABCD によって書く観点数が異なります。

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、また ABCD 別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主 題	友達がいてくれるうれしさを 忘れない	友達のためにがんばろう	よりよい友達関係をめざそう
導 入	今日は、友達とは、どんな存在なのか考えてみましょう	今日は、友達とは、どんな存在なのか考えてみましょう	友達関係とよく言いますね。今日は、友達関係について考えましょう
展 開 前 段	○イタリアに行くとき、デューラーは、どんなことを思っていたでしょう ○ハンスからの手紙を読み、絵の勉強をしているとき、デューラーは、どんなことを思っていたでしょう ○ハンスの手を握りしめながら、デューラーは、どんなこと	○デューラーがイタリアに行ったとき、ハンスは、どんなことを思ったでしょう ○自分の手がごつごつとしていくのを見て、ハンスは、どんなことを思ったでしょう ○デューラーが描いた「いのりの手」を見たとき、ハンスは、どんなことを思ったでしょう	○イタリアで絵の勉強をしているとき、デューラーは、ハンスのことをどのように思っていたでしょう。また、ハンスは、デューラーのことをどのように思っていたでしょう ○絵の勉強がなかなか終わらないとき、デューラーは、ハンスのことをどのように思ってい

	を思ったでしょう		たでしょう。ハンスは、デューラーのことをどのように思っていたでしょう
つなぎ発問①	○この後、デューラーは、どんなことを思いながら絵を描き続けたのでしょうか ○友達がいてよかったと思うときは、どんなときでしょう	○ハンスのよいところは、どんなところでしょう ○友達のために、いろいろなことができるのは、どんな思いがあるからでしょう	○ハンスとデューラーとの関係で、いいなあと思うところは、どんなところでしょう ○私たちは、どんなことをすると、ハンスとデューラーのような関係になることができるのでしょうか
展開後段	友達とは、どんな存在なのでしょう	友達とは、どんな存在なのでしょう	友達とのよりよい関係とは、どのような関係のことでしょう
つなぎ発問②	友達は、いつも、そばにいますよ ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか ・①のことで、もうすでに、やっているよということはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか では、振り返りを書きましょう	友達のことをしっかりと考えてあげると、何かできそうですね	友達関係は、だんだんと高めることができるものですね
振り返り			